

まごころ通信 あぐれむ

株ふるさと葬祭 アグレム

TEL 0182(52)3930

FAX 0182(52)3931

虹のホール アグレム

TEL 0182(36)3930

虹のホール アグレム

おものがわ

TEL 0182(56)2630

Vol.04 2012年3月26日発行

全県統一人形供養祭のご報告

9月10日(土) 全県統一人形供養祭を虹のホールアグレムで執り行いました。当日は悪天候にもかかわらず、駐車場に停められないほど多くの方々にご来場いただきホール内は人であふれ、式場祭壇前は多くの人形、ぬいぐるみで飾られました。

人形をお持ち頂いた皆様には、供養祭開始までホール内をご見学頂いたり、無料軽食コーナーにてご休憩頂きました。なかでも人気があったのがアレンジフラワー無料体験コーナーで、男女を問わずご参加頂いた皆様に楽しんでいただけただけでした。



●式壇にたくさんの人形、ぬいぐるみを飾りご供養いたしました



●人形供養には220名を超える方々がご参加下さいました

お昼頃の供養には220名を超える方々にご参加頂き、今回は横手市黒川の洞雲寺方丈様のお導きのもと供養を行いました。人形供養祭後には恒例の大抽選会を行い洞雲寺方丈様にもご協力を頂き、さらに盛り上げて大成功に導いてくださいました。

今後も、皆様にご満足頂けるよう、様々な企画を催し続けていきたいと思えます。



●供養祭開始まで、無料軽食コーナーにてご休憩頂きました



●皆様からご好評頂いたアレンジフラワー無料体験コーナー

人がこの世に生を受けてから亡くなるまでの間には、たくさんさんの祝い事や儀式、節目の行事など様々な営みがあります。昔から伝わる伝統や風習、土地柄や地域性によってその形には違いがあります。

ここでは、誰しにも必ず訪れる人生の結び：『葬儀』にスポットをあて、いざという時に役立つ横手地域の一般的な葬祭のマナーや情報を皆様にお伝えしたいと思います。

葬儀

葬式前の確認

葬儀の式場は葬儀社が設営していますが、花や供物などの並べ方は、お供えて下さった方に失礼のないように、故人や喪主との関係を考えて、葬儀社にはっきり指示しておくことが大切です。弔電などもご紹介する順番を決めておき、名称の読み方に間違いがないようにあらかじめ確認をとっておくことが大切です。受付では、会葬者にご記載いただく芳名帳など必要なものをご確認しておきます。香典の管理は、受付をして下さる方に責任をもって管理していただきます。

葬儀並びに告別式

仏教において葬儀は、残された人々が故人の成仏をお祈りし、供養する儀式です。一方、告別式は会葬者が遺族に慰めの言葉を寄せ、焼香または献花をし、故人に最後の別れを告げる式です。このように本来は、葬儀式と告別式は意味の違うものになっていますが、横手地区では同時に執り行うことが一般的とされており

葬儀終了

葬儀並びに告別式が終わりますと、住職様が一旦退場されます。その後、会葬者がお戻りになります。遺族・親族の皆様は、ここで会葬者の皆様をお見送りしていただくとうれしいでしょう。

三十五日中陰法要

横手地域では、葬儀のあと休憩をはさんで三十五日中陰法要を執り行います。

会食

三十五日中陰法要が終わったら、会食となります。一般的に仏教では「お斎」(おとき)神道では「直会」(なおらい)と言いますが、食事をすることを言います。故人の生前を思い、故人との思い出などを語りながら、皆で頂きます。

万が一のときのために

葬儀の流れについて今回まで語ってきましたが、葬儀とは思いがけなく起こる親族の死後、数日のうちに行うことが一般的です。親族の寿命が迫っていることを知っていても、死後のことは考えたくないという心情が働きます。そのため時間的余裕も精神的余裕もなく、葬儀に対する知識も乏しい状態で、葬儀社などの話し合いで葬式の形式などを決めなければなりません。その結果、十分に希望にそった葬儀を行えないことが多いのです。ですから、生前から葬儀社を選び、葬儀社に相談することをお勧めいたします。そうすることで、もしもの時も精神的な余裕を持って葬儀を行うことができます。当社も事前の相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談くださいませ。

最近では、自分自身の葬儀の形を決めておきたいという人も増えており、生前予約や生前契約という形をとられる方もいらっしゃいます。

また、生前予約・生前契約とは異なりますが、葬儀や死の前後の事を書き記して伝えるための方法として「エンディングノート」というものの作成があります。

エンディングノートとは

死は突然やってくることもあります。ある日、急に脳卒中で倒れ、そのまま意識が戻らなくなることもあります。

こんなとき周囲の家族は、あなたがどのような治療を受けたいと思っているのか、どんな葬儀を執り行なってほしいのか判らず困惑してしまいます。

エンディングノートとは、万が一のときに備えて家族への伝言や、病床に伏した場合の介護・治療法、葬儀・埋葬方法、財産・保険・クレジットカードについての情報など多岐にわたる項目について健康なうちに書き留めておくものです。

遺言のように法的拘束力はありませんが、残された家族が困惑しないためにも大変良い方法だと思えます。

書き留めておく内容の例

- 遺言のこと
 - 感謝のメッセージ
 - 看病、介護と死について
 - 病院、日常生活
 - 人生、自分史
 - 趣味、好み、こだわり
 - 葬儀の希望
 - 埋葬
 - 供養
 - 不動産
 - 住居
 - 預貯金
 - 年金、健康保険、生命保険
 - 損害、傷害保険
 - 税金
 - ローン
 - 株式
 - クレジットカード
 - その他の権利
 - 車
 - ペット
 - 形見分け、寄付
 - 家族、親族リスト
 - 友人、知人リスト
 - 関係会社、団体リスト
 - ご近所リスト
 - 記念日リスト
- など
- 当社でもご用意いたしております。

よこてのお寺巡り

大切な家族との別れ・・・
そんな時、心の拠り所は菩提寺です。

菩提寺のお導きで大切な人を送る。
そのお手伝いをさせていただく私達
アグレムが、横手地区のお寺さんに
ちよつと気になる事をインタビュー
して参りました。

今回は、平鹿町浅舞の玄福寺ご住
職にご協力いただき、為になるお話
を頂戴いたしました。



●玄福寺 第十八世 照井静信住職

―葬儀に参列した際、よく「お清めの塩」を用いて身を清めたりしますが、浄土真宗の場合、塩で身を清めたりはしません。こちらの宗派では、なぜお清めは不要とされているのでしょうか。

葬儀の際「お清めの塩」は何のために用いるのでしょうか。清めというからには何かの「けがれ」を除くという意味があるのででしょうか。

そうだとすると亡き人は「けがれたもの」ということになってしまいます。大切な親であったり、夫、妻、兄弟、友人親しんだ人、かけがえのない人を「けがれたもの」にしてしまいう行為は大変失礼であり、痛ましい行為です。浄土真宗の教えは、一切の命をかけがえのない命として尊重し、共に生き合う、そのような歩みが基となります。ですから、お清めは不要とされています。

―入棺の際、故人に旅支度（草鞋・手甲・脚絆・杖など）をしますが、浄土真宗では不要とされています。それは何故ですか。

旅支度は「死出の旅に出る」という発想から行われます。浄土真宗では「仏の誓いを信じて念仏を唱えるものは、すでに浄土にかえることが約束されている」のです。故人が死出の旅に出るといふ発想は全くありません。その為、浄土真宗では、旅支度は無意味なものとなります。

―他宗派では葬儀の際、戒名を授けて頂きますが、浄土真宗では法名を授けて頂きます。この違いを教えてください。

戒名とは、戒律を守ることを誓い、実践するものが授かる名前です。浄土真宗では戒名ではなく「法名」を授かります。なぜなら阿弥陀如来は、衆生を救うのに戒律の実行を条件とはしていないからです。法名は、人間の深い意識、精神的生命（心そのもの）の名、また如来から頂いた信心（他力の信）の名とすることができま。有縁の人々が仏法に出会い、新たに念仏に生きる人が機縁となることから「法名」と呼ぶ理由があります。



●玄福寺本堂



●玄福寺に残る見地図絵の中で最も有名な絵役人と農民計十三人が歪んだ田んぼを測量する様子を描いた絵。第一級の歴史資料で、測量学史上最も貴重とされ学校教科書にも掲載されている。

玄福寺の歴史

元禄元年（一五九二年）浅舞村本町に建立その後、寛永九年（一六三二年）現在の所在地に移る。
第十世『釈浄因』は地理・水理・田法に精通し、荒地を開墾。金銀よりも水土を財宝とした浄因は多数の著述をなし、日本の五大経済学者にも数えられた。

宗派は真宗大谷派。
現住職は照井静信氏（第十八世）

